

開講年度	2021	ナンバリング	13MD0102(2015) 13MD0102	学期	後期	開講学年	1	授業方法	講義	単位数	2
授業科目名	デジタルアーカイブメディア論(メディア論I)										
授業担当者	井上 透								実務経験	有	
実務経験内容	国立科学博物館・国立青少年教育振興機構における調査研究、デジタルアーカイブを中心にした情報集積・活用のための研究開発				実務経験と授業との関係	デジタルアーカイブを中心にした情報集積・活用のための研究開発実績を活用した授業を行う。					
授業の到達目標及びテーマ	メディアの特性や現在のメディア環境を理解し、デジタルアーカイブ開発における情報源のデジタル化において、メディアの利用(収集・保存・管理・発信)方法を具体的に習得する。また、デジタルアーカイブ構成において、利用者から求められるユニバーサルデザインによるメディア利用環境への対応や、多様なメディアを有機的に結合し、適正化を行い提供する手法や、オープンデータ化による分野横断型統合ポータルサイトへの接続について事例を考察し、実践的な開発力を獲得する。							ディプロマポリシーとの関連性	デジタルアーカイブ開発に関する、高い専門性と技能を育む。		
授業進行形態	講義										
シラバスの到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. デジタルアーカイブの対象(情報源)となるメディアの特性(環境)を理解する。</li> <li>2. メディアの利用(収集・保存・管理・発信)方法を具体的に習得する。</li> <li>3. 利用者から求められるユニバーサルデザインによるメディア提供方法を習得する。</li> <li>4. 多様なメディアを有機的に結合し適正化を行い提供する方法を習得する。</li> <li>5. オープンデータ化による分野横断型統合ポータルサイトへの接続について事例を考察し、実践的な開発力を獲得する。</li> </ol>										
授業の概要	デジタルアーカイブの対象(情報源)となるメディアの特性(環境)を理解し、メディアの利用方法(収集・保存・管理・発信)を実践的に習得することを目標とする。また、デジタルアーカイブ構成において、利用者から求められるユニバーサルデザインによるメディア利用環境への対応や、多様なメディアを有機的に結合し適正化を行い提供する手法、オープンデータ化による分野横断型統合ポータルサイトへの接続について実践的な開発力を獲得する。										
準備学習の具体的内容	博物館、図書館、大学等研究機関、自治体、企業から提供されているデジタルアーカイブを知識基盤として、実際の学修に活用する。										
予習の内容	参考書の該当箇所を箇条書きで簡潔にまとめ理解する。							予習時間	1.0時間		
復習の内容	事後ネットでアップする講義資料を箇条書きで簡潔にまとめ理解する。その後、課題に取り組み成果を提出する。							復習時間	2.0時間		
アクティブ・ラーニングの要素	課題解決型学習										
オフィスアワー	サイボウズにより予約 毎週火曜日5限目										
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 メディア利用の変遷</li> <li>2 デジタルアーカイブの情報源となるメディアの特性(環境)</li> <li>3 メディア環境調査の実施</li> <li>4 メディア環境調査の分析</li> <li>5 メディアの利用①デジタルアーカイブ概論</li> <li>6 メディアの利用②多様なデジタルアーカイブ</li> <li>7 メディアの利用③データサイエンス入門</li> <li>8 メディアの利用④著作権、肖像権、プライバシー保護等権利処理</li> <li>9 メディアの利用⑤メタデータの理解(検索にかかる用語の選択)</li> <li>10 メディアの利用⑥メタデータの整理(分類基準作成)</li> <li>11 メディアの利用⑦マーケティング</li> <li>12 メディアの利用⑧プレゼンテーション(基本)</li> <li>13 メディアの利用⑨プレゼンテーション(検索利用)</li> <li>14 メディアの利用⑩環境への対応(ユニバーサルデザインの実現)</li> <li>15 課題と考察</li> </ol>										
試験及び方法	試験及び課題レポート提出							フィードバックの方法			
テキスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・iPadにて利用可能なPDFデータを学内ネットで提供する。</li> <li>・内閣府知的財産戦略本部 我が国が目指すデジタルアーカイブ社会の実現に向けて2020年8月 <a href="https://www.kantei.go.jp/jp/singi/titeki2/digitalarchive_suisiniinkai/pdf/r0208_3kanen_houkoku_honbun.pdf">https://www.kantei.go.jp/jp/singi/titeki2/digitalarchive_suisiniinkai/pdf/r0208_3kanen_houkoku_honbun.pdf</a></li> <li>・知的財産推進計画2020(2020年5月) <a href="https://www.kantei.go.jp/jp/singi/titeki2/kettei/chizaikeikaku20200527.pdf">https://www.kantei.go.jp/jp/singi/titeki2/kettei/chizaikeikaku20200527.pdf</a></li> </ul>										
参考書	新版デジタルアーキビスト入門 岐阜女子大学デジタルアーカイブ研究所編 樹村房 2019年										
学生に対する評価及び基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業への積極性(45%)、課題レポート(20%)及び試験(35%)により評価を行う。</li> <li>・メディア環境の理解、デジタルアーカイブの対象、デジタル化、権利処理、プレゼンテーション方法の基本的理解を基準として評価を行う。</li> </ul>										
再試験	有										
臨時休業等に伴う遠隔授業の対応について	全ての講義で対応可能										

科目の受講を希望する学生にシラバスに記載されていない情報を提供します。

科目名	メディア論 I
時間割	毎週月曜 5限 16:30-18:00
初回の授業日	9/24(金、月曜授業日)
講義室	01216/04520
注意事項	自家用車による通学可。事前にメールでご相談ください。駐車場許可証を発行いたします。 受講登録受付期間 9/6-9/16
授業についての 問合せ	058-214-9064 (平日9時より18時まで (学休日除く)) gakuji@gijodai.ac.jp

地 図	
交通アクセス	JR 岐阜駅北口駅前12番のりば、または名鉄岐阜駅前4番のりばから岐阜女子大線・高美線乗車。「岐阜女子大」下車 (乗車時間 約39分)